

宮古島市役所平良庁舎活用事業 - 企画提案の概要

全体コンセプト

「宮古島の住民と観光客が交流する場を提供することで新たな価値を生み出す」

事業の内容

本事業では、**地元の食やアートが集まる常設の「マーケット（市場）」を開設**し、そこに一次生産者、仲卸業者、加工販売者、アーティスト・作家と宮古島市民や観光客が集い、直接交流することで、まだ生産者も宮古島市民も観光客も気づいていない新たな価値を発見する場にしていきます。

また、旧平良庁舎は宮古島市の中心であったため、**インフラとしての機能を可能な限り維持し拡充**するとともに、誰もが気軽に立ち寄れる複合施設にするため、**ユニバーサルデザインに最大限配慮**していきます。



事業の効果

交流から宮古島の良さを再発見し、誇りを持ってもらうことで、**島民の付加価値力を向上させ、所得を増加**させます。また、公園（公開空地）、防災拠点や観光インフラとして**宮古島市民と観光客のクオリティオブライフと安全性を向上**させます。

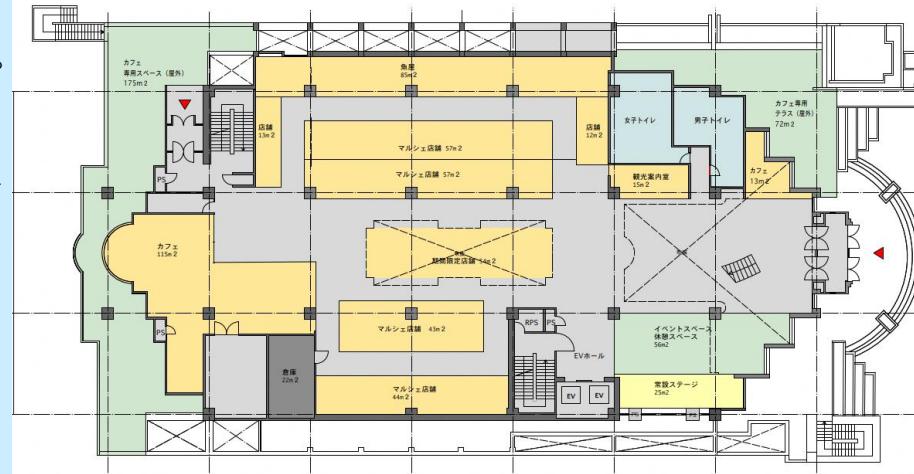
敷地配置図（駐車場、公園）

旧平良庁舎を観光施設とオフィスの複合施設に用途を変更するにあたり、いかに利用者が入りやすい（集まりやすい）場所に変わるかに注力しました。まず、旧平良第二庁舎跡地に駐車場が整備されたことから、東側の駐車場を廃止し水遊び場と広場を備えた公園に変更。子連れの地元住民や観光客を中心に、気軽に立ち寄れる場所を目指します。



1階（マーケット、店舗、ステージ）

1階には施設の核となるマーケットを配置します。マーケットには、一次生産者や仲卸業者、加工販売業者やアーティスト等、多様な店舗を誘致していきます。観光客だけでなく市民の方にもご利用いただけるよう、総菜やパン、デザート類の販売も充実させます。また、イベントステージは地元の学校や団体、学習教室に安価に貸出し、さらに期間限定店舗も設置することで常に賑わいを演出します。



2階（飲食店、屋台飲食店、シェアキッチン）

3～5階（オフィス、シェアオフィス）

地下1階（駐車場、防災倉庫、店舗）

6階・7階（浴場、ルーフトッパー）



2階は飲食店エリアとして整備をします。1階マーケットで購入した食材に限り、持ち込んで調理をしてもらうことが可能です（持込料金別途）。飲食店は地元食材を可能な限り利用していただけるよう働きかけ、地元食材の新たな調理方法等に繋げていきます。また、現在宮古島市では飲食店向け賃貸店舗が足りないことから、屋台飲食店を設置。厨房スペースを細かく区切り、テーブル・椅子は共有とし、設備として作り付けて賃貸することで、開業投資を抑え気軽に飲食店開業にチャレンジすることができます。

3～4階は合計20室のオフィス、5階にはさらに小規模な事業者やスタートアップ企業向けのシェアオフィスとし、市内のオフィス需要に対応します。6階は公衆浴場を設け滞在最終日のビーチ滞在からフライトまでのリフレッシュにも対応、7階は夕涼みを楽しめるルーフトッパーを誘致します。